

「新春0h笑い0-1グランプリ2016」2連覇、3回目の優勝

久米島出身の人気お笑いコンビ「ドラゴンエマニエル」

1月2日、沖縄テレビで放映された「新春0h笑い0-1グランプリ2016」で久米島出身のお笑いコンビ「ドラゴンエマニエル」が2連覇、3回目の優勝を飾りました。

2009年にコンビ結成をし、テレビ、ラジオ等メディア出演も増え、地元久米島のことを取り入れながら、全力で面白いネタを披露しています。

今回も決勝戦では、久米島を取り入れたネタを披露し、会場を沸かせていました。見事優勝を飾ったドラゴンエマニエルから喜びのコメントをいただきました。



▲写真左：しょうご 右：きっぺい

しょうご(仲村昭吾)

今回の0-1グランプリは、連覇がかかっている中、優勝出来てとても嬉しかったです！これも久米島の皆さんの応援のおかげだと思います。今後は、自分たちのお笑いのネタに磨きをかけて頑張っていきたいです！僕らは、本島の方でも毎月ライブをやっているので、もし本島に来る機会があれば、久米島の皆さん、観に来てください！

きっぺい(喜久里航平)

今回の0-1グランプリ、無我夢中でやった結果、2連覇することが出来て、とても良かったです！あと久米島にいる若い子たちに僕らのネタを見て刺激になってくれたら、とても嬉しいです！久米島の皆さん応援ありがとうございました！！

久米島紬従事者 山城ハツさん、内閣総理大臣賞受賞

2015年10月28日、ものづくりや伝統文化の熟練人材らを表彰する第6回ものづくり日本大賞(主催・文部科学省、経済産業省など)で、字真謝の山城ハツさんが選ばれました。ハツさんは、久米島紬の製作に長年従事しており、養蚕・製糸技術の第一人者として後継者の育成や保存伝承に取り組んだことが評価されました。

92歳とは思えないほどの元気な足取りで大田町長のもとを訪れたハツさんは、満面の笑みで受賞の喜びを語りました。



艶やかに2016年久米島を迎える

平成28年久米島町新年会

1月4日、具志川改善センターにて、平成28年久米島町新年会が開催されました。町文化協会の皆さんによる荘厳な古典音楽斉唱と、華やかな琉球舞踊で幕を開け、町歌斉唱では久米島高校の生徒が合唱し、卒業を控えた3年生からは進路についての嬉しい報告がありました。

新年会には、島内外から様々な業種の方々約300人が参加し、今後の久米島町の活性化について熱い思いを語り合うなど、親睦と交流を深めました。



交通のきまりを守り、みんなによびかけます

美崎小学校「交通少年団」結成式

1月14日、美崎小学校体育館にて、児童・幼児期に交通ルールやマナーを身につけ、交通事故から身を守り、命の尊さを教え、思いやりの心を育てる等を目的とした交通少年団の結成式が開催されました。

金城校長は、「これから先、大人になっても交通ルールを守り続けましょう」と挨拶をしました。

浜川交番長より、少年団ノボリ旗、チョッキ、キャップの贈呈があり、式の最後には、美崎小6年生10人が大きな声で堂々と「交通少年団のちかい」を述べました。



豊作と安全を祈願して

平成27/28年期久米島製糖操業開始式

今期のさとうきび生産予想は、4万5千トンとしている中、1月15日、久米島製糖工場にて、平成27/28年期久米島製糖開始式が行われました。

今年も安心安全な操業ができることを祈願し、工場内に積み込まれたさとうきびにお神酒かけが行われました。

上江洲社長は、「今期は収穫面積の減少に伴い、昨年の生産量より下回る予想。しかし、心配された台風被害の影響少なく、単収は、良くなることを見込んでいます。」と挨拶をしました。

これから3月末まで製糖期が続きます。



大うなぎにビックリ仰天!

字仲地住民が大うなぎ発見

1月10日、字仲地で体長1m45センチ・胴回り45センチの大うなぎが見つかりました。発見した中村徹さんは、朝8時ごろ農作業に出かけようとして自宅前の農業用水路で死んだ大うなぎを見つけました。「今まで見た事のない大きなうなぎ。ビックリした」と話しました。中村昌繁さんは「こんな大きなうなぎは初めて見る。海に産卵に行く途中に死んだのだろう」と残念がっていました。思わぬ発見に朝から地域住民らはビックリ仰天でした。

